

公表

## 事業所における自己評価総括表（児童発達支援）

○事業所名	重症児デイサービスdash（児童発達支援）		
○保護者評価実施期間	令和6年10月31日		～ 令和6年12月20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数) 2
○従業者評価実施期間	令和7年1月6日		～ 令和7年1月10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月15日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	Q11)事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	毎月の遊びや製作等、テーマを決めて活動に取り組んでいる。季節を感じることや、様々な素材に触れる機会を多く持てるよう計画している。 また、職員間でも活動内容や目的を共有し、みんなで楽しめるよう心がけている。	常に新しい情報や世の中の流行を取り入れながら、今まで取り組んでいなかったものにも挑戦し、新鮮な気持ちで楽しめるように心がけたい。
2	Q4)生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	季節の装飾で飾り付けたり、こまめに掃除や消毒を行っている。また、整理整頓を心がけ、いざという時の避難も迅速に行えるように動線を意識している。	今後も、気持ちの良い空間で安心、安全で過ごせるように清潔な空間づくりを心がけていく。
3	Q15) 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	送迎の際や連絡ノート、個別にLINE等でご様子をお伝えしている。特に健康状態は意識し、小さな発疹等も報告し合える関係性を意識している。 また、日常の活動についてはInstagramで発信し、ご家庭ではできない活動や遊びの様子をご覧いただいている。	今後も送迎の際や連絡ノートを通して、日頃から話しやすい関係作りを意識していきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	Q11) 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	今年度、近隣保育園と交流の機会を持つために打ち合わせをし、予定を決めたが、その期間に感染症（手足口病やリンゴ病等）の流行があり、断念した。	・感染症の流行が少ない時期に実施できればと思う。
2	Q14)事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	ペアレントトレーニングの知識がある職員がいない。また、研修を実施するスキルも低い。 他機関で実施されている研修会などのご案内は実施しているが、当事業所の利用者様に向けたものは少ない。	どういった研修をご希望か伺う機会を作っていければと思う。実施に関しては専門家に依頼が出来れば、実現できるかも知れない。
3	Q18)父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	ご要望があることは認識していますが、どのように実施すればより保護者同士やきょうだい児の交流になるのか、経験がないため実施を躊躇してしまう。	他機関で実施している例を集め、実施の実現につなげていきたい。